

全国に広がる思春期研究会

研究会を経て社団法人に

設立の経緯

平成四年に設立されたいはらき思春期研究会で、平成九年に社団法人になりました。茨城県の若者は瀾りがなく純粹であってほしいという願いをこめて、濁点のない「いはらき思春期保健協会」と命名され、「思春期にある者の健全な心身の発達をはかることにより茨城県民の保健・医療・教育・福祉等に寄与すること」を目的に運営されています。

茨城県でも、思春期の望まない妊娠、人工妊娠中絶や性感染症、薬物乱用等の増加の問題や、心身症、不登校、引きこもり等の心の問題等があります。

事業のご案内

とともに、悩みを解決して家族や周囲の人々にもより健康で快適な生活をおくってもらおうと活動しています。

事業のご案内

1. 相談：来所面接相談と電話相談（ヤングコール）があります。
2. 啓発活動：①講演会：専門家を招いて講演会を開催。これまでに千葉県、茨城県の武田敏先生や群馬県の家坂清子先生をはじめ、多くの専門家にお越しいただきました。②地域グループの支援：学習会、学校、PTA、市町村の要請に応じてアドバイザーや講師を派遣。
3. 研究：思春期に関する研究を行い、発表の機会を設けています。
4. 相談員の養成：ヤングコールの相談員として大学生など若者を対象に実施しています。
5. 広報：会報の発行
6. 相談員専門研修：①講座修了生を対象としたチェックアップパーティーなど、ワークショップを行います。②学校や地域の需要に応じるため、講演の講師を養成する講座を開催しています。③県内の各地域の方々とネットワーク化を図るため、地域事業を水戸、日立、鹿嶋（鹿嶋近辺）、南（土浦・つくば）で実施しています。

平成二十年度からの新規事業

▼「家族とメンタルヘルス」講座（全五講座）
最近の事件・事故についてテレビ・新聞等では、家族の人間関係を起因とするような報道が多くなり、今日的な社会問題として注目されています。次のような思春期にとって重要な問題について学んでいます。①家族のメンタルヘルス②家族の意義③家族の病（精神的）とその影響④子育ての「いまむかし」から⑤思春期問題行動と非行。
▼「心の相談」思春期の理解と支援（全二十一講座）
保護者や教員のほか、児童館やフリースクール、学童保育、放課後の

いはらき思春期研究会で、平成九年に社団法人になりました。茨城県の若者は瀾りがなく純粹であってほしいという願いをこめて、濁点のない「いはらき思春期保健協会」と命名され、「思春期にある者の健全な心身の発達をはかることにより茨城県民の保健・医療・教育・福祉等に寄与すること」を目的に運営されています。

茨城県でも、思春期の望まない妊娠、人工妊娠中絶や性感染症、薬物乱用等の増加の問題や、心身症、不登校、引きこもり等の心の問題等があります。

とともに、悩みを解決して家族や周囲の人々にもより健康で快適な生活をおくってもらおうと活動しています。

1. 相談：来所面接相談と電話相談（ヤングコール）があります。
2. 啓発活動：①講演会：専門家を招いて講演会を開催。これまでに千葉県、茨城県の武田敏先生や群馬県の家坂清子先生をはじめ、多くの専門家にお越しいただきました。②地域グループの支援：学習会、学校、PTA、市町村の要請に応じてアドバイザーや講師を派遣。
3. 研究：思春期に関する研究を行い、発表の機会を設けています。
4. 相談員の養成：ヤングコールの相談員として大学生など若者を対象に実施しています。
5. 広報：会報の発行
6. 相談員専門研修：①講座修了生を対象としたチェックアップパーティーなど、ワークショップを行います。②学校や地域の需要に応じるため、講演の講師を養成する講座を開催しています。③県内の各地域の方々とネットワーク化を図るため、地域事業を水戸、日立、鹿嶋（鹿嶋近辺）、南（土浦・つくば）で実施しています。

▼「家族とメンタルヘルス」講座（全五講座）
最近の事件・事故についてテレビ・新聞等では、家族の人間関係を起因とするような報道が多くなり、今日的な社会問題として注目されています。次のような思春期にとって重要な問題について学んでいます。①家族のメンタルヘルス②家族の意義③家族の病（精神的）とその影響④子育ての「いまむかし」から⑤思春期問題行動と非行。
▼「心の相談」思春期の理解と支援（全二十一講座）
保護者や教員のほか、児童館やフリースクール、学童保育、放課後の

これまでは保護者や教育関係者、保健関係者を対象とした講演が多かったのですが、若い会員から「若者を対象にしたイベントをやって欲しい」という声もあり、若者向けのエイズ・性感染症予防の研修会やピアカウンセリングの研修なども実施しています。今年度はホームページも立ち上げたので、日本家族計画協会のセミナーや思春期啓発の本なども紹介していきたいと思えます。



会員と若年妊娠について語り合う鈴木重次会長

<社団法人いはらき思春期保健協会>

代表 鈴木重次
設立 1992年に前身のいはらき思春期研究会設立、1997年に社団法人いはらき思春期保健協会設立
会員数 300人
連絡先 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-17 水戸市医師会館1階
(社)いはらき思春期保健協会
Tel 029-305-7563
Fax 029-305-7564
HPアドレス <http://ish7563.com/>

ヤングコールのご紹介
若者による思春期電話相談を土曜の午後一時～

児童館やフリースクール、学童保育、放課後の

保護者や教員のほか、児童館やフリースクール、学童保育、放課後の

（社）いはらき思春期保健協会 幹事 和田由香